

Rocky 3000GT

Engine: 3,000cc Width: 1,200kg
Made by Rocky Auto Supervision: Hosoya Shihomi

TOYOTA 2000GT SUPER REPLICA

約50年前、1台のスポーツカーがヤマハ発動機の工場からトヨタ自動車へ納品された。「トヨタ2000GT」と名付けられたそのクルマは、後に数々の記録を塗り替え世界を驚愕させることとなる。

今や1台1億円ともいわれる、その幻の名車を実際の開発チームメンバー監修のもと忠実に再現し、現代の技術をインストールした普段使いから長距離ドライブまでおも快適にこなすスーパーレプリカが「Rocky3000GT」だ。当時のままのスタイリングを実現しているのは独自のパイプフレーム構造と、窓ガラスに至るまでオリジナル製作で造り上げた数えきれないほどのパーツ類であり、職人の手により一台一台ハンドメイドで組上げられる。作り手の情熱と、この斬新かつ懐古なスペシャリティを待ち望んだオーナー達によりその進化は進み続けている。



Rocky3000GTは様々なカスタムオーダーも可能で、もちろん実際にナンバーを取得して公道走行が可能。既に10台以上がオーナーの手元へと納品されている。
今回は、細部まで進化を続けるRocky3000GT初となるMTモデルを全国最速試乗した。

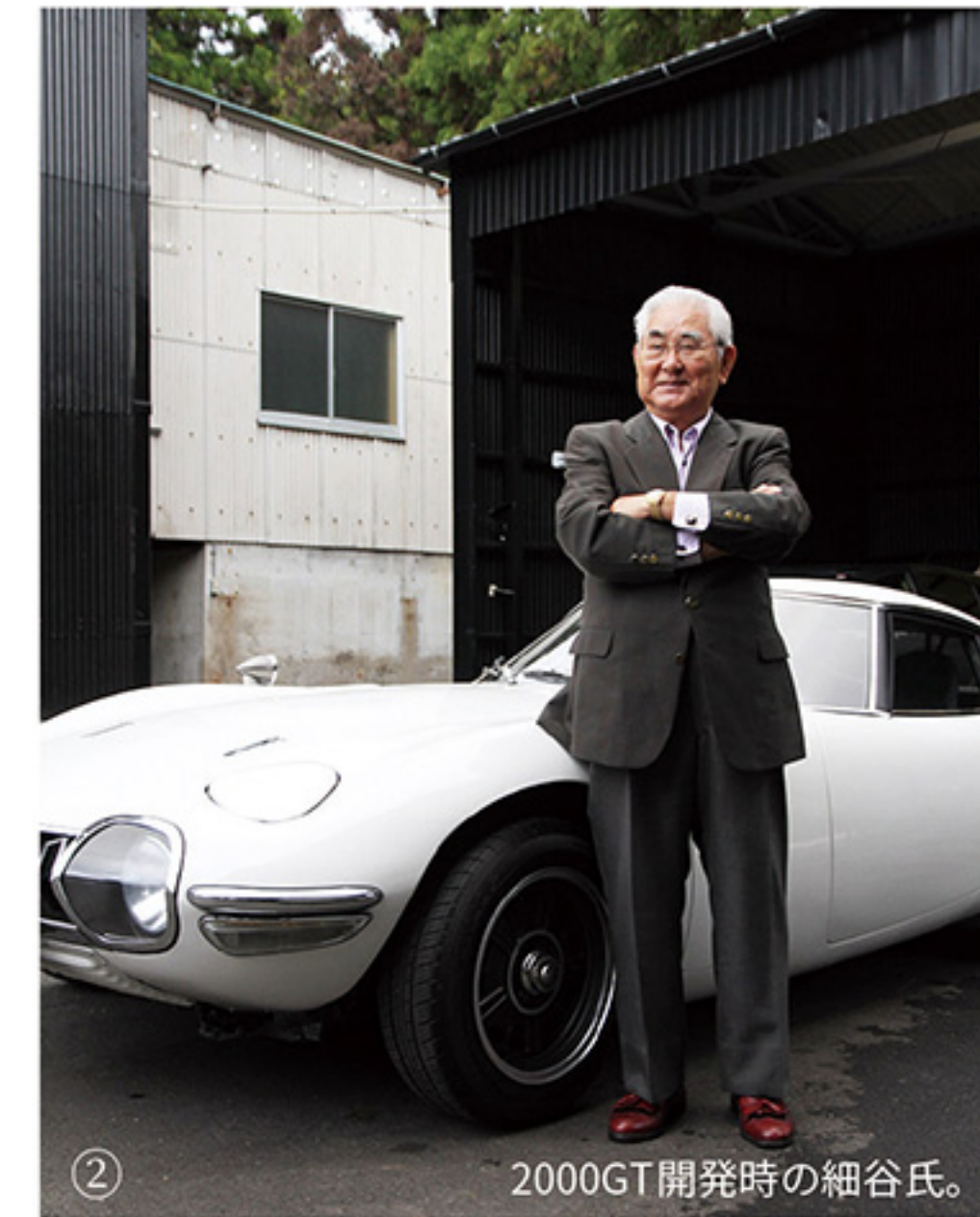
五十年の時をこえ蘇る
幻のスペシャリティスポーツ



SHOWROOM

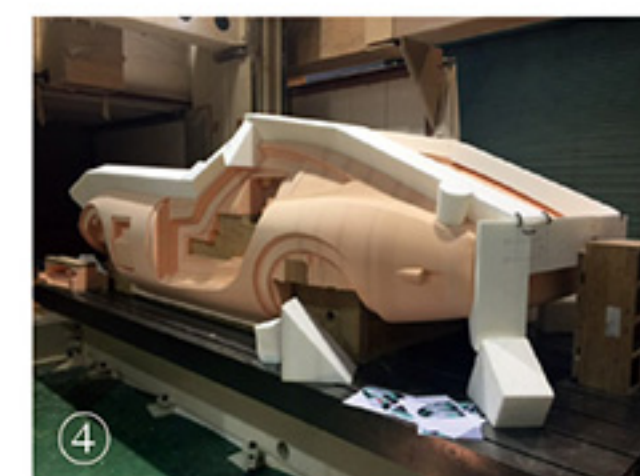
〒444-0003 愛知県岡崎市小美町字殿街道153
TEL (0564) 66-5488 / 受付時間 10:00~19:00
FAX (0564) 66-5499 完全予約制

www.rockyauto.co.jp



2000GT開発時の細谷氏。

①搭載されるエンジンは、クラウン、スープラ、アリストにも採用されたトヨタ製 2J エンジン。2000GTになぞらえた直列 6 気筒型だが可変バルブ機構の VVT-i や DOHC など、現代のエンジン技術が反映されるため安定感、耐久性、出力性能は飛躍的に向上する。またアフターパーツも多いエンジンのため写真のような 6 連スロットルやレーシングインジェクションなどオーナー好みの味付けにも仕上げられる。②R3000GT の開発にはトヨタのワークスチーム「チームトヨタ」でキャプテンを務め、2000GT の開発にもテストドライバーとアシスタントデザイナーとして参加した細谷四方洋（ほそや しほみ）氏が監修参加している。ホンモノを誰よりも知る細谷氏の確かな記憶と記録に基づいて仕上げられるからこそ手元に置く喜びがあるのだ。③設計は 2000GT の実車を 3D CAD で完全データ化。④CAD データから切削機械により 1/1 の木型を作製し正確な金型を成型。⑤「野崎ライン」と呼ばれる車体を横断する美しいラインも見事に再現。ライトベゼルなどのパーツも実車からデータをおこし忠実に再現・製作している。



キーをひねれば軽快に吹け上がる自然吸気エンジン、ステアリングに軽く手を添えているだけでスーッと素直に進む安定性、クッと切り込んでやってもびたりと路面をとらえクネクネと身をよじるこたない脚のしなやかさと剛性感、そこには外から見えている半世紀前のクルマの印象はない。それは、見える部分は寸分たがわぬ "当時" を再現しながらも、レシプロ機を搭載したクルマの完成期とも言える "時代の流れ" を確実に組み込むことで得られる新境地である。その完成度は、我々も「レプリカ」という表現こそ使用しているが、正に新たなコンセプトの新型車の域に達しており、憧れ、所有感、デザインへの賞賛を見事に捉えながらも、ドライバーの感性を犯すことのない上質な大人のスペシャリティカーとして成立している。

今回試乗した車両は、Rocky3000GT 史上初のマニュアルミッション搭載車である。ショートストロークぎみのシフトフィーリングと余裕のあるギア比に、車両重量 1t 少々という軽量ボディには十分なトルク感が合わさって街乗りからワインディングまで快適にこなす感覚が心地良い。特に試行錯誤を繰り返して進化した脚の硬すぎず柔らかすぎない絶妙な動きと車内の静粛性は実に快適だ。よく少量生産のレプリカにありがちなレプリカであるが故の雑さや妥協が感じられない点が、このクルマを選択する "ホンモノ" を良く知るオーナー達が惚れ込むポイントなのだろう。



2000GTのアイコンである七宝焼きのエンブレムを、同製法でRocky3000GTのアイコンとして再現。

半世紀ぶりに甦るデザインと現代技術の融合

洗練された流れるようなローフォルムは今見ても斬新さを感じる。実は計算されつくしたデザインは機能面においても素晴らしい。それが初めて実証されたのは、大記録を残した谷田部でのスピードトライアル。台風の前雨の中 200km/h を超える速度で走行する 2000GT を撮影した写真には、空力を研究されつくしたプリウスのように雨がボディを綺麗に這い、車両後部へスムーズに流れていく様子が取まっていた。風洞実験などない半世紀前にこれほど理想的な空力性能を実現できていたことは奇跡である。



⑥ロングノーズ、ショートキャビン、現代の感覚からすると思ひのほか小柄な印象のボディは、流麗なデザインと共に街中では違和感とも表現できる存在感がある。⑦R3000GTのcockpitには7連メーター、ステッキ状のパーキングレバー、スリムなウッドに3本スポークのステアリングが再現されながらも、オートエアコンや現代風の使いやすくスムーズなウインカーレバーなどが採用される。どかっと低めのシートに座り、直立したチェンジレバーでギアを選択した瞬間に幻のスペシャリティの世界へと入り込んでいく。⑧前期モデルの特徴である縦に開いたフォグランプや当時のトヨタの"顔"であったT型のグリル、そしてせり上がり式のリトラクタブルライトまでも2000GTのもの。またボンネット中央にうすらと通る縦のラインにも「野崎ライン」同様に2000GTをデザインした野崎諭(のざき とおる)氏と開発チームと共にした細谷氏のこだわりが貫き通されている。現在までに公開されているモデルは前期仕様のモデルだが、実は後期仕様も開発が完了しておりオーダーが可能。

MAKER INFORMATION

rockyauto

〒444-0003 愛知県岡崎市小美町字殿街道153

TEL (0564)66-5488 FAX (0564)66-5499

Mail : rockyauto@rockyauto.co.jp



Rocky Auto 渡辺喜也 代表



モーターゾーン MOTORZONE

5
2018
Vol.8
(通巻324号)

2018 ~ 2019 NEW CAR'S
全部見せます!!

スーブラ・カローラスポーツ・UX・WRX・フォレスター・VIZIV ツアラー
RAV4・アウトランダー PHEV・CR-V・Honda Urban EV Concept



本誌
初試乗!

トヨタ2000GTスーパーレプリカMTモデル

Rocky 3000GT 試乗記

ジュネーブショーにみるヨーロッパからの新風をお伝えする
体制か、反体制か どちらが正義

レジェンドはなぜ売れないのか

オートトレンド2018

美濃クラシックカーフェスタ2018

無料
0円
お一人様1部ずつ
お持ちください。

モーターを着こなせ!!